

学習会一過去に学び今を知る

え?あの人もなぜ?(°Д°)

フェミニストたち の戦争協力

講師:鈴木裕子さん

女性史研究者・

『フェミニズムと戦争』(マルジュ社刊)著者

与謝野晶子



平塚らいてう



市川房枝



写真: Wikipedia より

◎日時: 2024年2月12日(月・祝)

13:30~16:30(開場13:15)

◎会場: ギャラリー古藤

(東京都練馬区栄町9-16 TEL:03-3948-5328)

◎参加費: ご予約 1500円 当日 1800円

◎定員: 30名

◎お問合せ: 050-3594-2951(留守電対応)

whats.everything@gmail.com

主催: what's

<https://whats-everything.com/>

jimdoofree.com/



★お申し込みは
こくちーずプロ

「戦時下のフェミニズム」でご検索
ください。



<https://x.gd/MLOpg>

女性保護論争を繰り広げた歌人 与謝野晶子、青鞜を立ち上げ、「原始 女性は太陽であった」と発言し女性の地位向上を唱えた平塚らいてう、そして女性運動家として婦人参政権運動に参画し、戦後も議員として活躍した市川房枝。華々しく活動した彼女たちが、戦時下に戦争に加担していったことは、あまり知られていません。人権意識が高かったはずの彼女たちがなぜ戦争に協力していったのか。長年フェミニズム運動を研究されてきた鈴木裕子さんにお話をいただきます。着々と戦争への準備をすすめる現在の状況を知る手がかりとして、ぜひ、ご参加ください。

「戦時下のフェミニズムと現在」

鈴木裕子



今日、世界は中東情勢をはじめ、中国と台湾、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)をめぐる米韓日軍事同盟の強化など、新たな戦争の時代へと突入しようとしている。韓国の文在寅前政権は、南北の融和、戦争終結を目指したが、残念ながら、尹錫悦保守政権は、逆に北朝鮮敵視対策をとり、融和・戦争終結

政策とは断絶し、南北朝鮮の間は軍事的緊張が増している。22年の大統領選挙では、革新系の李在明候補との票差は1%にも満たず、民意は戦争を望んではいないであろう。尹政権は、さらに日本軍「慰安婦」問題はじめ「徴用工」問題など、文政権が目指した被害者の立場に立つ対応とは反対に、尹政権は棚上げし、日韓の軍事強化を図っている。岸田文雄政権は米国から依然として兵器を爆買いし、軍事費も膨張させている。北朝鮮を敵視し、それらを理由に、軍事拡張路線を突進し、日米韓の軍事同盟の強化を図っているといえる。

近代日本は、富国強兵を国家の方針とし、帝国主義、植民地主義をとり、日清戦争から15年戦争・アジア太平洋戦争へと、侵略戦争をおこない、自国の民衆はもとより、植民地朝鮮や台湾から戦時動員、すなわち兵力、強制連行・強制労働、あげくの果ては女性たちを占領地や戦地に送り込み、性的に蹂躪した。

このような情勢のもと、日本の女性運動やフェミニストたちがいかなる対応をしたのか、反戦の行動を行ったのか、それとは反対に戦争を支持し、戦争動員や天皇翼賛への道に進んだのかを見ておくことは、今日の女性運動やフェミニズムにとって、大きな意味をもつものと思われる。1986年、わたくしは『フェミニズムと戦争』(マルジュ社、増補新版 1997年)や『フェミニズムと朝鮮』(明石書店 1994年)を著し、歴史的に考察した。

歴史的に見ることで、現在がよりよく見え、今後の方向も探れればと思う。

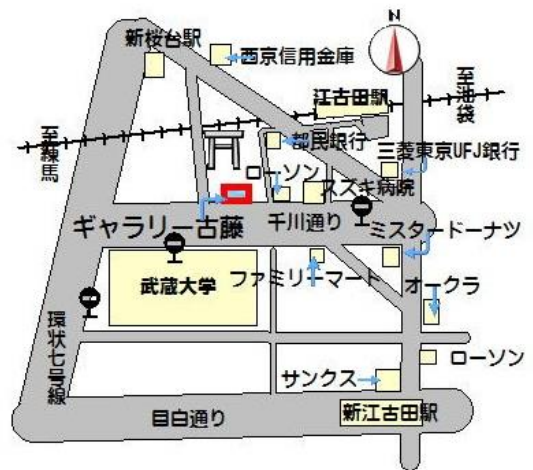


【講師プロフィール】

鈴木裕子(すずきゆうこ) 1949年東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。静岡大学法経短期大学講師をはじめ、明治大学、国土館大学、東京経済大学、東京学芸大学の各講師。

早稲田大学文学部、同国際部、同文学学術院元教員。現在、早稲田大学ジェンダー研究所招聘研究員。著書に『天皇家の女たち』(社会評論社、2019年)、『忘れられた思想家 山川菊栄—フェミニズムと戦時下の抵抗』(梨の木舎)、編著に『金子文子 わたしはわたし自身を生きる 手記・歌・調書・年譜』(梨の木舎)等多数。

ギャラリー古藤 アクセスマップ



- 西武池袋線「江古田駅」南口 徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「新江古田駅」A2出口 徒歩7分
- 西武有楽町線「新桜台駅」2番出口 徒歩6分
- 関東バス江古田駅バス停 徒歩4分
- 都営バス武蔵大学バス停 徒歩1分
- 関東バス・国際興行バス豊玉北バス停 徒歩6分

柔軟剤・香水などの香りの強いものを身につけずにご参加ください。携帯・スマホ等のお持ち込みをお控えいただきますようお願い致します。



電磁波や化学物質に敏感な方への配慮です。どうぞご協力をお願い致します。